

CONNECTING to peace



陸上自衛隊

Japan Ground Self-Defense Force





CONNECTING to peace

鉄壁を創り続ける 陸上自衛隊

陸上自衛隊と聞いて、みなさんは「国を守る組織」くらいの漠然としたイメージを抱いているかもしれませんが、具体的な職務まで認知されている方は残念ながら少ないと思います。職務内容を端的に言うと、みなさんが安心して過ごせる毎日を、未来につなぐためのあらゆる活動です。本冊子を読んでいただければ、「なぜ自衛隊が必要な?」「こんなこともやっているんだ!」といった新たな発見がきっとあると思います。

01	なぜ、自衛隊は必要? 日本を取り巻く安全保障環境	03
02	日本を守るための活動とは? 「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み	05
03	今後は、どのような活動が必要になる? 「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み -陸上防衛力の強化(中期的な取り組み)-	07
04	日米同盟にはどんな意味がある? 「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み -日米同盟による抑止力・対処力強化-	09
05	米国以外との協力関係は? 「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み -同盟国・同志国等との連携の強化-	11
06	いざという時の備えは? 国民の生命・身体・財産の保護に向けた取り組み	13
07	陸上自衛隊の国際活動って何? 国際的な安全保障協力への取り組み	15
08	普通の人々が陸上自衛官になれる? 人的基盤の強化	17
09	ほかには、どんな活動をしている? 民生支援、広報等	23
10	陸上自衛隊はどんなところ? 陸上自衛隊の職種 / 陸上自衛隊の主要装備品 / 陸上自衛隊の組織と階級	25



なぜ、自衛隊は必要？

日本を取り巻く安全保障環境

いま日本は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています



出典: ①Adaca/アフロ ②ロシア国防省HP ③Office of the North Korean government press service/UPI/アフロ ④AP/アフロ ⑤ロイター/アフロ ⑥ロイター/アフロ ⑦Shutterstock ⑧U.S.Army/ZUMA Press/アフロ ⑨DARPA/アフロ ⑩Shutterstock ⑪Staff Sgt. Donald Holber/U.S. Marine Corps/AP/アフロ ⑫Science Photo Library/アフロ

02 日本を守るための活動とは？

「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み

平素からの取り組み

抑止力の強化のための取り組み

平素から南西地域に部隊を配置するとともに、あらゆる事態に対応するため、訓練を行います。



部隊の受入れ基盤(駐屯地)の整備



部隊展開訓練



展開地における実動訓練

警戒・監視

平素から警戒・監視網を広範囲にわたり継続的に構築するとともに、日本及び日本周辺における様々な兆候を察知します。



対海上脅威への警戒・監視



対空脅威への警戒・監視



サイバー攻撃等の兆候を察知

同盟・同志国との連携

平素から同盟・同志国との共同訓練を実施するとともに、これらの国々との関係を強化します。



米陸軍との共同訓練



豪陸軍との共同訓練



比海兵隊との共同訓練

グレーゾーン事態への対応

グレーゾーンの事態においては、関係部外機関と連携して必要な対応を実施するとともに、事態の深刻化に備え、部隊展開や防衛準備を行います。



迅速な部隊展開



関係部外機関との連携



防衛準備

日本に対する侵攻への対応

さまざまな脅威からの国民や重要施設等の防護

侵攻の阻止と同時に、侵攻地域のみならず、さまざまな脅威から国民や重要施設等を防護し、国民の生命・身体・財産と日本の領域を断固として守り抜きます。



重要施設等の防護



住民の避難支援



武力攻撃災害への対応

侵攻の阻止

いち早く、そして遠方で侵攻を阻止するために、相手の脅威圏外からのスタンド・オフ・ミサイルを発揮し、相手を撃破します。加えて、海空自衛隊や米軍との統合・共同作戦により、各種の火力を発揮して侵攻を阻止します。



統合対艦攻撃



統合防空ミサイル防衛



対機甲戦闘

3 今後は、どのような活動が必要になる？

「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み —陸上防衛力の強化(中期的な取り組み)—

陸上防衛力強化の4つのポイント

① 領域横断作戦能力の強化

② スタンド・オフ防衛能力の強化

③ 迅速かつ分散した機動展開能力の強化

④ 持続性・強靱性の強化

① 領域横断作戦能力の強化

従来の陸・海・空領域に、宇宙・サイバー・電磁波領域を加えた6つの領域の相乗効果を引き続き強化します。あわせて、認知領域を含む情報戦に対処します。

サイバー・電磁波・宇宙領域の強化

サイバー領域において防衛省・自衛隊のサイバー能力強化に寄与するため人材育成基盤を強化するとともに陸上自衛隊の防護能力を強化します。また、電磁波領域における電子戦能力、宇宙領域においては衛星を活用する能力を強化します。



通信学校を「システム通信・サイバー学校」に改編



対空電子戦部隊の新編



衛星コンステレーションのサービス利用

各領域を横断する作戦能力の強化

各領域を横断する能力として、情報収集能力、統合での対艦・対地攻撃能力、統合での防空ミサイル防衛能力、水陸両用作戦能力等を強化します。



多用途無人機部隊の新編



12式地对艦誘導弾能力向上型



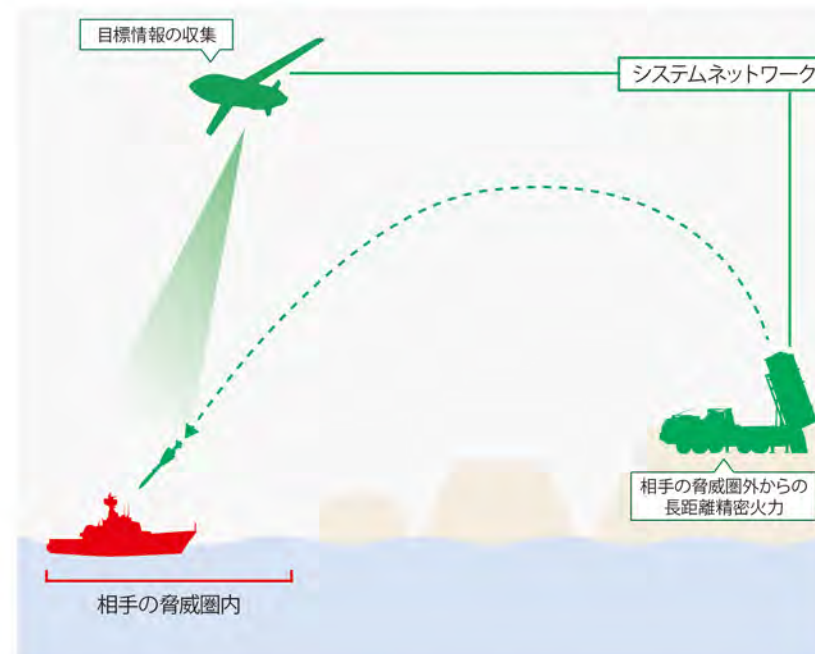
水陸両用作戦能力の強化

認知領域を含む情報戦への対応

認知領域を含む情報戦に対処し、AIの活用等により、意思決定の優越を確保します。

② スタンド・オフ防衛能力の強化

相手脅威圏外(スタンド・オフ)からの攻撃が可能な長距離精密火力を即時に指向できる態勢を確立し、抑止力・対処力の中核を構成します。



③ 迅速かつ分散した機動展開能力の強化

情勢の緊迫に伴い迅速に部隊等を展開し得るよう、機動展開能力を強化します。



④ 持続性・強靱性の強化

後方支援体制の整備や機能を充実させるとともに、防衛施設を強化することにより、作戦を継続する能力を強化します。



日米同盟にはどんな意味がある？

「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み - 日米同盟による抑止力・対処力強化 -

日米双方の新たな戦略等に基づく取り組みを逐次取り入れつつ、戦略対話・運用研究／指揮所演習・共同訓練を有機的に連携させ、日米共同対処態勢を抜本的に強化していきます。さらに、日米同盟を基軸とした同志国等との連携の強化にも積極的に取り組んでいきます。



戦略対話等に基づく関係強化

陸上自衛隊は米陸軍と米海兵隊の間において、強固なカウンターパート関係を構築し、日米陸軍種間の連携を一層強化していきます。

中央レベル



太平洋レベル



地域レベル



日米共同訓練の進化

陸上自衛隊の領域横断作戦と米陸軍のMDO^{※1}・米海兵隊のEABO^{※2}を踏まえた実行動による連携要領の具体化により、共同対処能力を向上させるとともに、これらの成果を積み上げ、日米共同方面隊指揮所演習(Y S)において融合させ、総合的な能力向上を図っていきます。



日米同盟を基軸とした同志国等との連携の強化

ガルダ・シールド (Garuda Shield): 米国および尼国^{※3}における日米尼共同訓練

※3 尼: インドネシア

令和4年8月、陸自として初となるインドネシア陸軍との実動訓練を実施し、日米インドネシア陸軍種間の連携を強化しました。



日米比ハイレベル懇談

令和4年12月、日米比陸軍種によるハイレベル懇談を初めて一堂に会して実施し、同盟国である米国および日本と戦略的共通点を有するフィリピンとの連携を強化しました。

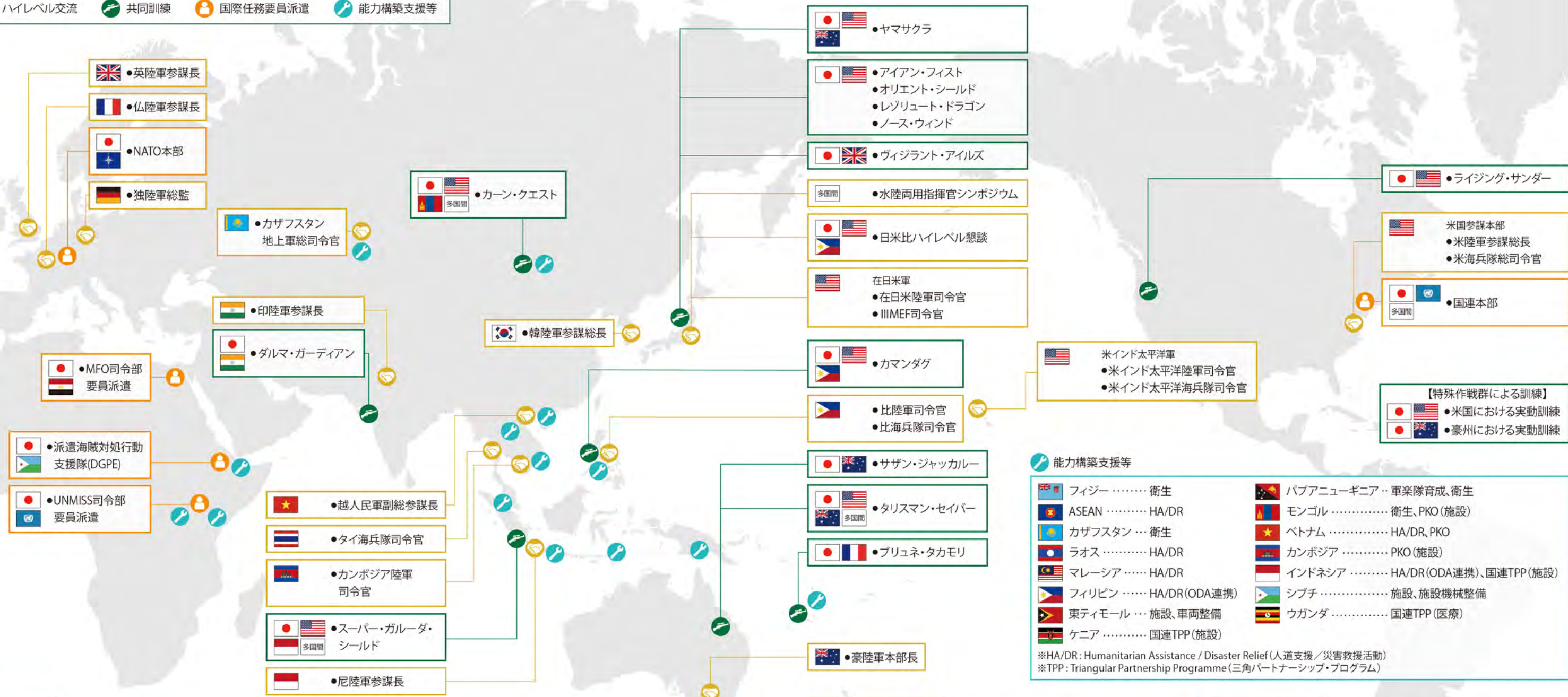


米国以外との協力関係は？

「国家防衛戦略」等に基づく陸上自衛隊の取り組み — 同盟国・同志国等との連携の強化 —

ハイレベル懇談、共同訓練、能力構築支援等により、米・豪・印、ASEAN諸国、英・仏・独をはじめとする欧州諸国、太平洋島嶼国等との多角的・多層的な防衛協力を推進していきます。

- 🗺️ ハイレベル交流
- 🤝 共同訓練
- 👤 国際任務要員派遣
- 🔧 能力構築支援等



※長方形・正方形の国旗は、縦横比を全て2:3に統一しています。

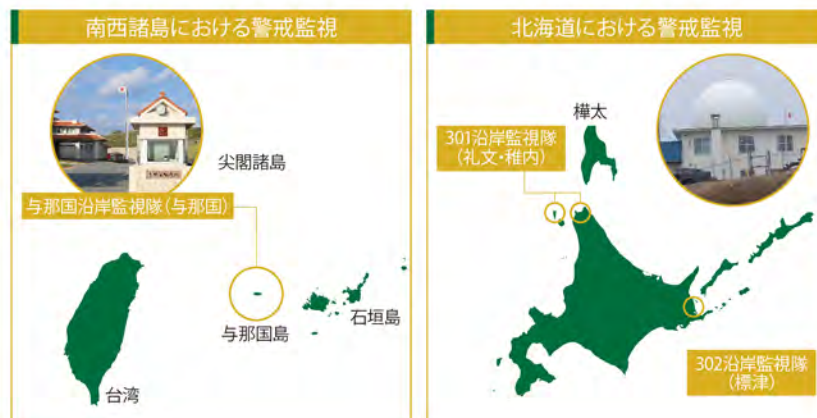
いざという時の備えは？

国民の生命・身体・財産の保護に向けた取り組み

陸上自衛隊は、平素からさまざまな役割を果たすことにより、日本にとって望ましい安全保障環境を創出するとともに、脅威を抑止し、これに対処して国民の生命・身体・財産を保護します。

日本周辺における常続監視

海・空自衛隊とともに、平素から24時間態勢で行う警戒監視の一翼を担っています。



島嶼部に対する攻撃への対応

海・空自衛隊と一体となった統合運用により、必要な部隊を迅速に機動・展開させ、侵攻部隊の接近・上陸を阻止します。また、万が一占領された場合には、あらゆる措置を講じて奪回します。



弾道ミサイル攻撃等への対応

弾道ミサイル防衛のためのPAC-3を防護するとともに、海・空自衛隊と一体となって弾道ミサイル等への対応に万全を期しています。



在外邦人等の輸送・保護措置への対応

外国における災害、騒乱およびその他の緊急事態に際し、在外邦人等の輸送・保護措置を迅速かつ的確に行うため、部隊を速やかに派遣できる態勢を維持するとともに、各種訓練により能力を維持・向上しています。



ゲリラや特殊部隊等による攻撃への対応

警察との共同訓練や対処訓練を通じて、ゲリラや特殊部隊等による不法行為や破壊工作から国民の生命を守ります。



大規模災害等への対応

天災地変その他の災害に対して、人命または財産の保護のため、都道府県知事等の要請に基づき、捜索・救助、医療支援、入浴支援、給食支援、給水支援、輸送支援等のさまざまな災害派遣活動を実施しています。



07 陸上自衛隊の国際活動って何？

国際的な安全保障環境の改善への取り組み

1 1992年に、陸上自衛隊が、日本として初となる国連平和維持活動(PKO)への参加部隊をカンボジアに派遣して以来30年間、各種PKOに約12,000名の隊員を派遣してきました。

今後も、陸上自衛隊は、国際安全保障環境の改善に寄与するため、以下の4つの分野を重視して取り組みます。

- 現地ミッションへの要員派遣
- 国連TPP^{※1}等のPKOに係る能力構築支援
- 国連本部への幕僚派遣
- 国連PKO工兵部隊マニュアル改訂等の知的分野における貢献

※1 TPP: Triangular Partnership Programme (三角パートナーシップ・プログラム)

また、国際的な大規模災害に際しての国際緊急援助活動にも貢献していきます。

2 ジブチ拠点の警備や拠点の維持管理等を実施し、シーレーンの安定的利用の確保に寄与していきます。

現地ミッションへの要員派遣

高い専門性を有する陸上自衛隊の特性を生かして国際平和に寄与するため、MFO^{※2}およびUNMISS^{※3}といった現地ミッションに引き続き要員を派遣しています。

なお、MFOについては、2023年6月、MFOへの初となる施設要員の派遣及び陸上自衛隊初となる現地ミッション司令部への陸曹の追加派遣が決定されました。

※2 MFO: Multinational Force and Observers (多国籍部隊・監視団)
※3 UNMISS: United Nations Mission in South Sudan (国連南スーダン共和国ミッション)



MFO司令部要員



UNMISS司令部要員

国連TPP等のPKOに係る能力構築支援

これまでに蓄積した経験を活かしつつ、各国のPKO要員の能力を向上するため、国連・要員派遣国・支援国の三者が互いに協力する革新的モデルである国連TPP等、PKOに係る能力構築支援を実施しています。



国連TPP (施設)



国連TPP (医療)

国連本部への幕僚派遣

国連の国際平和に向けた努力に積極的に寄与し、また、派遣された職員の経験を日本のPKO活動への取り組みに活用するため、国連本部に幕僚を派遣しています。



国連における勤務



国連本部内のミーティング

国連PKO工兵部隊マニュアル改訂等の知的分野における貢献

これまでのPKOミッション等への派遣により蓄積した経験・能力を活用して、国連の国際平和に向けた努力に積極的に寄与するため、国連PKO工兵部隊マニュアル改訂の議長国を務める等、知的分野に貢献しています。



マニュアルの改訂



訓練用教材の改訂

国際緊急援助活動

国際協力の推進に寄与するため、2022年、火山噴火による津波・降灰の被害を受けたトンガ王国にCH-47JAを派遣する等、国際緊急援助活動に積極的に取り組んでいます。



トンガ王国における物資輸送



インドネシアにおける医療活動

ジブチ派遣海賊対処行動支援隊

シーレーンの安定的確保に寄与するため、ジブチの活動拠点において、警備や拠点の維持管理等を実施しています。



警備状況の確認



ジブチ拠点の警備 (P-3Cの警備)

普通の人が陸上自衛官になれる？

人的基盤の強化①

主要な人事教育施策

厳しい採用環境や自衛隊の役割の多様化等に対応するため、陸上自衛官の採用による人材の確保、教育等による人材の育成、女性自衛官の活躍推進、両立支援や福利厚生などの隊員を支える各種施策および社会への人材の還元により退職後に社会で活躍できる機会を準備する等の各種人事教育施策を総合的に実施しています。

陸上自衛官の採用



採用広報イベント

女性自衛官の活躍推進



陸上自衛隊初の女性将官

人材の育成



高等工科大学(システム・サイバー教育)



新隊員教育

隊員を支える各種基盤



両立支援(庁内託児所)

社会で活躍する元陸上自衛官



元陸上自衛官の活躍(JMAS)

陸上自衛隊の採用

陸上自衛隊の主な採用コース

陸上自衛官になるには、大きく分けて①部隊等の骨幹となる幹部自衛官を目指すコース、②部隊等の中核となる曹を目指すコース、③希望に合った将来設計が可能な任期制自衛官(自衛官候補生)を目指すコース、④中学校卒業後、技術系の職務に従事する陸曹を目指す高等工科大学校生徒のコースがあります。

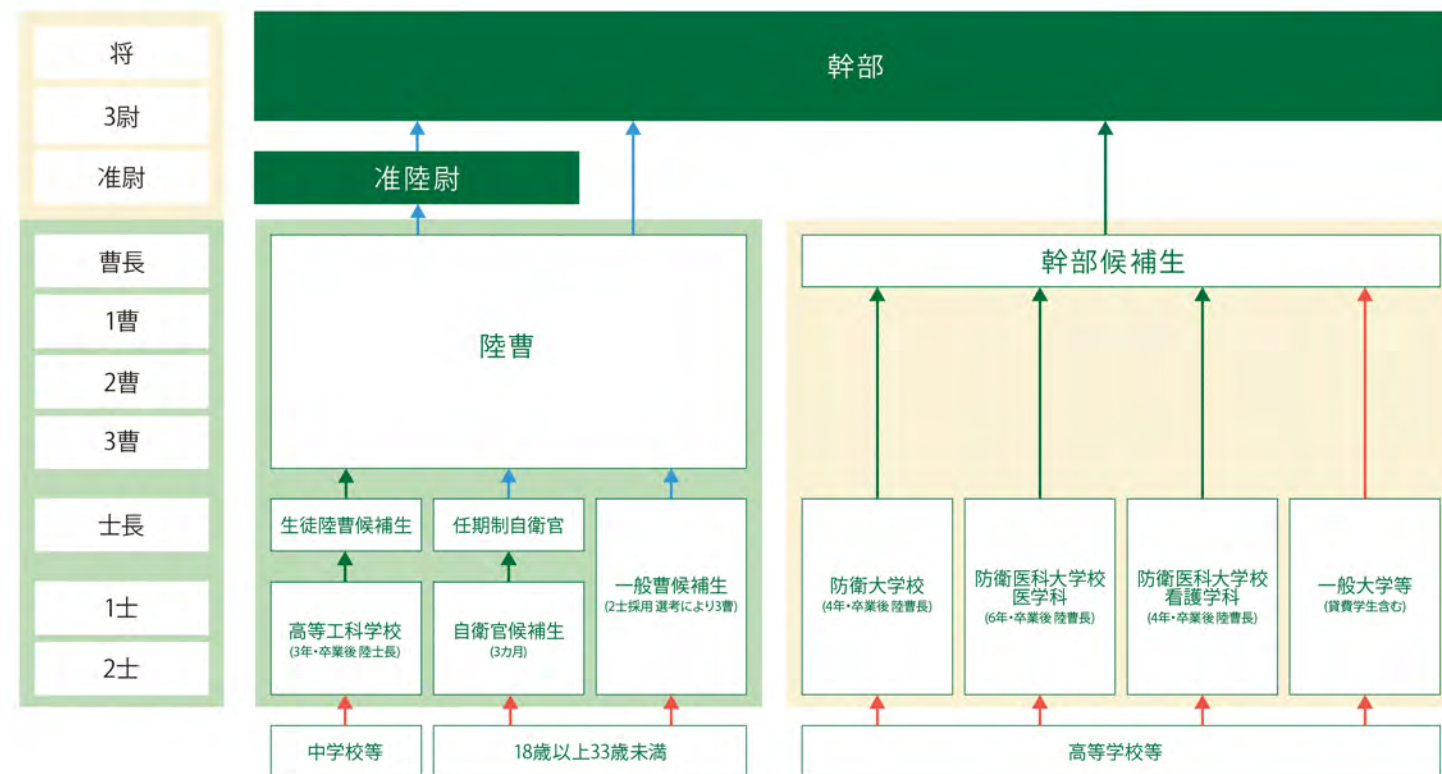


女性自衛官教育隊入隊式



高等工科大学校入校式

陸上自衛隊の任用制度



採用に係る問い合わせ

受験資格の細部、その他の採用種目は自衛官募集HPまたは採用案内をご覧ください。最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。この他、陸上自衛隊では自衛官だけでなく、事務官・技官も採用しています。

募集要項等に関する情報はコチラ!

インターネット応募受付はコチラ!

地方協力本部に関する情報はコチラ!

陸上自衛隊の事務官、技官の採用に関する情報はコチラ!

普通の人が陸上自衛官になれる？

人的基盤の強化②

人材の育成

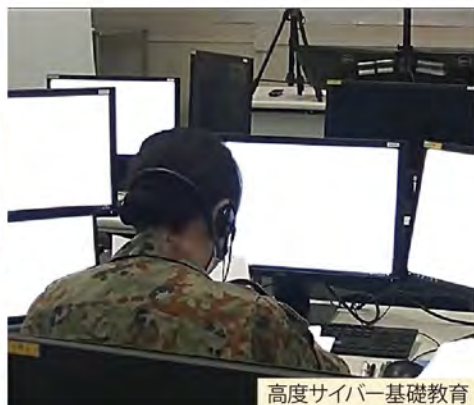
陸上自衛隊では、現在および将来にわたって予期される戦略環境において任務を完遂するため、基本教育等による識能等の修得と国際的な職務環境の場を相互に提供しあうことにより、有能かつ多様な人材を計画的に育成。複雑および高度化する戦略環境の急速な変化に応じるよう、宇宙・サイバー・電磁波等の領域を含めた各種分野に精通した人材を育成する施策を推進しています。

基本教育等では、幹部・曹・士のそれぞれの職務に応じて様々な教育を実施し、部隊において職務を遂行するために必要な知識・技能を段階的に修得できるようにしています。

教育による育成



自衛官候補生課程(戦闘訓練)



高度サイバー基礎教育



自由降下課程(降下訓練)



水陸両用課程(緊急脱出訓練)



航空操縦課程(シミュレーター訓練)



富士総合火力演習(学生教育)

職務を通じた育成



初級幹部国外訓練(米国)



指揮官による命令下達



米陸軍とのサイバー連携に係る業務調整



国際機関で活躍する女性自衛官(国連)

女性自衛官の活躍推進

陸上自衛隊の全職種が女性自衛官に開放されており、自身の能力・適性に応じてさまざまな分野で活躍することができます。



訓練中の普通科小隊長



災害派遣に出動した後方支援連隊長

隊員を支える各種施策

両立支援、テレワーク等の推進

育児休業をはじめとするさまざまな育児制度の取得を推奨し、子供にとっての初めての経験を見ることや一緒に歩行訓練を行う等、子供の成長を日々感じることができる環境整備、テレワーク等により柔軟で多様な働き方の実現が可能です。

また、仕事と家庭の両立支援の基盤を整備するため全国4カ所(真駒内、朝霞、三宿、熊本)に庁内託児所を整備しています。

さらに、地震等の突発的な災害が発生し、緊急登庁が必要となった場合等に、隊員が子供を連れて登庁し、その子供を一時的に預けることができる施策を行っています。これにより、自衛官として直ちにその任務につくことができる態勢を整えています。



男性隊員の育児



駐屯地内の庁内託児所(熊本)



駐屯地内の緊急時の子弟預かり施設(武山)



男性隊員の自宅でのテレワーク



駐屯地内の庁内託児所(三宿)



駐屯地内の緊急時の子弟預かり施設(久里浜)

福利厚生充実

陸上自衛隊では、隊員が任務を完遂するために必要な家族等との連携や各種事態等における運用の実効性向上のため全国の駐屯地の共用場所にWi-Fi環境の整備や運動器具の整備等の福利厚生施策を行っています。



共用場所へのWi-Fi整備



運動器具の整備

普通の人 が 陸上自衛官 になれる?

人的基盤の強化③

社会で活躍する元陸上自衛官等

幅広い分野における活躍

自衛隊は任務の性格上、組織の精強性を維持する必要があるため、多くの自衛官は、50歳代半ば(若年定年制)又は20歳代~30歳代半ば(任期制)で退職する人事制度となっており、退職後もあらゆる分野で活躍しています。



- ホテル従業員
- 警察職員
- 人材サービス業務員
- 法務省職員
- 人材サービス業顧問
- 医療事務員
- 建設会社職員
- 非営利団体(JMAS)職員
- 車両運行会社運転士

防災危機管理分野における活躍

地方公共団体等では、近年、全国各地で頻発する豪雨災害、土砂災害等に対応するため、防災の専門性を有する外部人材を「防災監」や「危機管理監」として採用・配置しており、多くの退職自衛官が、その知識・経験を活かし、防災・危機管理分野で活躍しています。



予備自衛官等制度について

予備自衛官等制度とは、平素は社会人として企業等に勤務しつつ、年間に定められた日数の訓練に参加し、各種事態や大規模災害等、いざという時に自衛官となる制度で、陸上自衛隊には予備自衛官制度、即応予備自衛官制度および予備自衛官補制度があります。



予備自衛官等制度の概要

	予備自衛官	即応予備自衛官	予備自衛官補
導入年度	昭和29年度	平成9年度	平成13年度
有事の際の役割	第一線部隊が出動した時に、駐屯地警備や後方支援等の任務に就きます。	第一線部隊等の一員として、現職自衛官とともに任務に就きます。	
招集区分	防衛招集 国民保護等招集 災害招集 訓練招集	防衛招集 国民保護等招集 治安招集 災害等招集 訓練招集	教育訓練招集
平時における(教育)訓練日数	5日間/年 (3日間と2日間に分割可能)	30日間/年 (2日間~4日間程度の訓練を複数回)	●予備自衛官補(一般) 50日間/3年以内 ●予備自衛官補(技能) 10日間/2年以内

詳しくは、QRコードから公式サイトへアクセスしてください

予備自衛官

部外力の活用

人口減少と少子高齢化が急速に進展する中、人材の安定的な確保は陸上自衛隊にとって喫緊の課題です。このため、職種学校、駐屯地業務隊、補給処等の機関等における民間委託が可能な業務等に対し、部外力(民間人材等)を積極的に活用することで、常備自衛官を第一線部隊に充足させ、自衛隊の能力を最大限に発揮する取り組みを進めています。



ほかには、どんな活動をしている？

民生支援、広報等

民生支援

陸上自衛隊は、地方公共団体や関係機関からの依頼等に基づき、運動競技会に対する協力、地域住民との交流等、さまざまな分野での民生支援活動を行っています。

不発弾の処理、地域行事等に対する協力



不発弾処置



雪まつり支援

広報

陸上自衛隊の活動を広く国民に紹介するために、音楽隊による演奏、駐屯地記念行事における部隊見学等の自主的広報活動、イベントや番組取材・撮影協力等の協力的広報活動を行っています。また、陸上幕僚長等による記者会見や訓練の報道公開により、報道関係者を通じて情報を発信しています。

音楽隊による演奏



自衛隊音楽まつり



国外軍楽祭における演奏

駐屯地記念行事



市街地パレード



体験試乗

駐屯地記念行事、番組取材・撮影協力



訓練展示



テレビ番組取材

記者会見、報道公開



陸上幕僚長定例記者会見



訓練の報道公開

陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」

陸上自衛隊広報センターは、東京都と埼玉県にまたがる朝霞駐屯地に併設された、陸上自衛隊の大型広報施設です。陸上自衛隊の任務・組織等の紹介のほか、実際に活躍していた16式機動戦闘車(16MCV)、歴代戦車、対戦車ヘリコプター(AH-1S)等を多数展示しています。このほか、VR対戦車ヘリコプターシミュレータ、服装体験/デジタル試着等により、陸上自衛隊を体感できる施設です。



屋内展示



陸BOY タクマくん

開館時間 午前 9:30 - 11:45 午後 13:15 - 16:45 入館料 無料 電話 03-3924-4176

休館日 月曜日、火曜日、年末年始 (休館日が祝日にあたる場合は翌日の平日が休館になります。)

開館時間や休館日は変更の可能性があります。来館前に陸上自衛隊広報センターHPで最新情報をご確認ください。



陸GIRL ユウちゃん

交通アクセス

電車の場合

- 東武東上線「和光市駅」又は「朝霞駅」下車……………徒歩約20分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線「和光市駅」下車……………徒歩約20分
- 西武池袋線「大泉学園駅」下車、北口から西武バス「朝霞駅行」に乗車「南大通り」下車……………徒歩約15分

自動車の場合

- 東京外環自動車道「和光インターチェンジ」から約1.5 km

※カーナビゲーションをご利用の方は「埼玉県朝霞市栄町4-6」付近に設定してください。※川越方面から国道254号線は右折できませんので、県道109号線(新座和光線)をご利用ください。



MAP

10 陸上自衛隊はどんなところ？

陸上自衛隊の職種

普通科

地上戦闘の骨幹部隊として機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。



機甲科

戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊および偵察部隊があり、戦車等の優れた機動力および装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。



武器科

火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。



需品科

平時から有事まで、糧食、燃料、水、戦闘服等の補給や入浴・洗濯等の後方支援を担当します。また、災害派遣においては入浴支援等により、被災者の生活支援を行います。



野戦特科

火力戦闘部隊として大量の火力を集中して広域な地域を制圧するとともに、長距離精密火力を随時随所に指向して敵を撃破します。



高射特科

対空戦闘部隊として侵攻する航空機等を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。



輸送科

保有する特大型車両、海・空自衛隊や民間力による輸送、各種手続き、現場での統制等を実施し、国内外における自衛隊の活動を支援します。



化学科

各種化学器材をもって放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。



情報科

情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理および地図・航空写真の配布を行い各部隊の情報業務を支援します。



航空科

各種ヘリコプター等をもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡等を行い、広く地上部隊を支援します。



警務科

犯罪の捜査、警護、道路交通統制、犯罪の予防等、部内の秩序維持に寄与します。



会計科

隊員の給与の支払いや部隊の必要とする物資の調達等の会計業務を行います。



施設科

戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材の整備等を行います。



通信科

各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理並びに通信器材等の整備を行います。



衛生科

患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫の技術支援および衛生資材の補給整備等を行います。



音楽科

音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚するとともに広報活動を行います。



陸上自衛隊はどんなところ?

陸上自衛隊の主要装備品

16式機動戦闘車 (16MCV)



乗員...4名 全高...2.87m 全備重量...約26t 武装...105mm施線砲
全長...8.45m 全幅...2.98m 最高速度...約100km/h

10式戦車 (10TK)



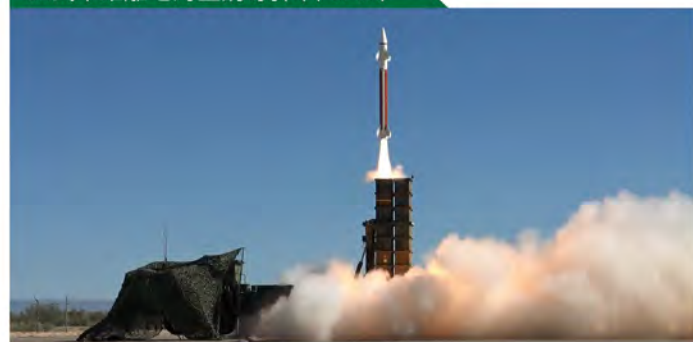
乗員...3名 全高...約2.3m 全備重量...約44t 武装...120mm戦車砲
全長...約9.5m 全幅...約3.2m 最高速度...約70km/h

99式自走155mmりゅう弾砲 (99HSP)



乗員...4名 全高...4.3m (積載状態) 全備重量...約40t 武装...155mm榴弾砲
全長...12.2m 全幅...3.2m 最高速度...約49.6km/h

03式中距離地对空誘導弾 (中SAM)



全長...約4,900mm 重量...約570kg
胴体直径...約320mm

水陸両用車 (AAV7)



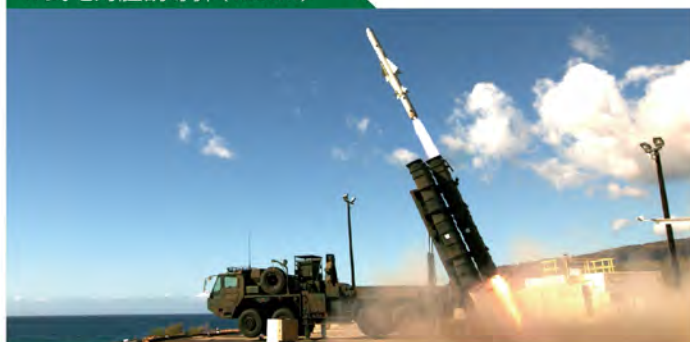
乗員...3名+16名 全高...3.3m 全備重量...21.8t 最高速度(陸上)...約72km/h
全長...8.2m 全幅...3.3m 武装...40mm自動てき弾銃等 最高速度(海上)...約13km/h

19式装輪自走155mmりゅう弾砲 (19WHSP)



乗員...5名 全高...約3.4m 全備重量...25.0t以下 武装...155mmりゅう弾砲
全長...約11m 全幅...約2.5m 最高速度...約90km/h

12式地对艦誘導弾 (12SSM)



全長...約5,000mm 重量...約700kg
胴体直径...約350mm

11式短距離地对空誘導弾 (11短SAM)



全長...約2,930mm 重量...約103kg
胴体直径...約160mm

07式機動支援橋 (07MSB)



乗員...3名 全高...約3.7m 全備重量...25t 橋長...60m
全長...約11.0m 全幅...約3.0m 最高速度...85km/h

多用途ヘリコプター (UH-2)



乗員...2名(操縦士)+11名 全高...約3.7m
全長...約13.1m 全幅...約2.9m ※全長、全高、全幅はローター径を含まない数値

UAV (狭域用)



全長...約1.0m 重量...約2.4kg
全幅...約1.0m

NBC偵察車



乗員...4名 全高...約3.2m 全備重量...約19.6t 武装...12.7mm重機関銃
全長...約8.0m 全幅...約2.5m 最高速度...95km/h

ネットワーク電子戦システム (NEWS)



電波の収集・分析及び通信の無効化により作戦を有利にする装置

V-22 (オスプレイ)



乗員...3名(操縦士)+24名 全高...6.7m
全長...17.5m 全幅...15.5m ※全長、全高、全幅はローター径を含まない数値

UAV (中域用)



全長...約1.7m 重量...約26.5kg
全幅...約3.1m

野外手術システム



重量...手術車 手術準備車 滅菌・補給車各車約3.5t
手術能力...1日10人~15人の手術が可能

陸上自衛隊はどんなところ？

陸上自衛隊の組織と階級

陸上自衛隊の編成



陸上自衛隊の主要駐屯地



陸上自衛隊の階級章等

階級章

陸上自衛官が制服等または、襟(陸士は左腕部)につけているものです。陸上自衛官の階級がわかります。

階級 (外国軍人呼称)	陸上幕僚長 (大將)	陸将 (中将)	陸将補 (少将)	1等陸佐 (大佐)	2等陸佐 (中佐)	3等陸佐 (少佐)	1等陸尉 (大尉)	2等陸尉 (中尉)	3等陸尉 (少尉)	准陸尉 (准尉)
階級章	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★	★	★	★	★	★
階級 (外国軍人呼称)	陸曹長 (上級陸曹)	1等陸曹 (曹長)	2等陸曹 (2等軍曹)	3等陸曹 (軍曹)	陸士長 (上等兵)	1等陸士 (1等兵)	2等陸士 (2等兵)			
階級章	★	★	★	★	★	★	★			

最先任上級曹長の識別章

最先任上級曹長とは、部隊等の指揮官を直接補佐する役職で、制服等の胸に識別章をつけています。最先任上級曹長は、准尉・曹士のリーダーとして隊員を育成し、部隊の強化に努めています。



き章

陸上自衛官が制服等の胸につけているものです。陸上自衛官の現在の職務や取得した技能がわかります。

航空き章	航空き章 (機上整備員)	航空管制き章	スキーき章	レンジャーき章	空挺き章
自由降下き章	不発弾処理き章	特殊作戦き章	冬季遊撃き章	水陸両用き章	艇長き章
洋上潜入りき章	水路潜入りき章	体力き章	格闘き章	射撃き章	募集広報き章

防衛記念章

陸上自衛官が制服の胸につけているものです。陸上自衛官の経歴や功績がわかります。

第1号 特別賞詞	第2号 第1級賞詞	第3号 第2級賞詞	第4号 第3級賞詞 (航空無事故等)	第5号 第3級賞詞 (航空無事故等)	第6号 第3級賞詞 (説明考案・業務改善)	第7号 第3級賞詞 (訓練・演習等)	第8号 第4級賞詞 (災害派遣等の行動)	第9号 第4級賞詞 (災害派遣等の行動)	第10号 第4級賞詞 (説明考案・業務改善)	第11号 第4級賞詞 (訓練・演習等)	第12号 第5級賞詞 (災害派遣等の行動)
第13号 第5級賞詞 (航空無事故等)	第14号 第5級賞詞 (説明考案・業務改善)	第15号 第5級賞詞 (訓練・演習等)	第16号 安全功労・防犯功労者表彰に係る業務従事者	第17号 特別賞状受賞に係る業務従事者	第18号 第1級賞状受賞に係る業務従事者	第19号 将たる指揮官	第20号 将補たる指揮官	第21号 1佐たる指揮官	第22号 2佐・3佐たる指揮官	第23号 1尉たる指揮官 (訓練・演習等)	第24号 将たる指揮官を補佐する上級曹長等
第25号 将補たる指揮官を補佐する上級曹長等	第26号 1佐たる指揮官を補佐する上級曹長等	第27号 2佐・3佐たる指揮官を補佐する上級曹長等	第28号 1尉たる指揮官を補佐する上級曹長等	第29号 内閣勤務者	第30号 統幕勤務者 (学校を除く)	第31号 各幕勤務者	第32号 平成18年3月26日以前の統幕会議事務局及情報本部勤務者	第33号 情報本部勤務者 (通信所を除く)	第34号 技術研究本部勤務者	第35号 装備施設本部勤務者	第36号 防衛監察本部勤務者
第37号 防衛装備庁勤務者	第38号 内閣官房等勤務者	第39号 25年以上勤続者	第40号 10年以上勤続者	第41号 海外勤務従事者	第42号 海賊対処行動従事者	第43号 国内における大規模災害従事者	第44号 国際貢献従事者 (PKO活動・国際緊急援助活動等)	第45号 国際貢献従事者 (テロ対策特別措置法等)	第46号 国際貢献従事者 (イラク人道復興支援特別措置法等)	第47号 国家的行事従事者	第48号 海外訓練等従事者



2023



YouTube

